現場レポート　ソウル事務所

JETAA と連携して JET プログラムの魅力を発信 !!

（一財）自治体国際化協会ソウル事務所　所長補佐　佐岡　政樹（愛媛県派遣）

2021 年度に開催された JETAA（元 JET 参加者の会）韓国支部総会において、JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）への参加を終えた後、JET 経験者がどのようなキャリアを形成するかについて、「生の声を聞くことによってキャリアに対する不安を払拭することのできる機会を作れないか」との相談を受けて、クレアソウル事務所では、2022 年度から、JET 経験者を対象に、現在どのような仕事をしているかなどについて取材し、取材した内容に基づく韓国語の動画を作成し、当事務所ホームページ上で掲載する「JET プログラムキャリア支援事業」を、JETAA 韓国支部と連携して実施しています。

掲載した動画を、現役の JET 参加者や JET プログラムへの参加を検討している人々に向けて発信することによって、JET プログラムの一層の魅力向上を図るこの事業では、2022 年度の 2 人、2023 年度の 3 人に続き、2024 年度は 3 人を取材しました。本稿では、2024 年度に取材を行った 3 人の体験談を紹介したいと思います。

元奈良県 CIR　ナム・ヒョンジョン氏

1 人目は、2018 年 4 月から 2022 年 3 月にかけて奈良県で CIR（国際交流員）として在籍していたナム・ヒョンジョン氏を取材しました。

YouTube 動画（ナム・ヒョンジョン氏）のサムネイル

ナム・ヒョンジョン氏は、奈良県で、友好提携を結んでいる韓国の忠清南道との交流業務などに取り組んだ後、現在は大阪府に所在する駐大阪韓国総領事館に勤務しています。

現在、総領事館で従事している業務の中には、日本の地方自治体との交流業務や日韓の地方自治体間の交流支援業務も多いとのことで、これらの業務には、JET プログラムで日本の自治体の仕事の進め方を学ぶことができた点や、培った翻訳や通訳の能力を最大限生かして取り組めているとお話をされていました。

県庁の同僚を含めた当時の関係者が現在のカウンターパートになることも多いそうで、日本の自治体職員としてのノウハウのみならず、JET プログラムのコネクションをも活用できている点は特に印象的でした。

元島根県 CIR　パク・ヘジョン氏

2 人目は、2014 年 4 月～ 2019 年 3 月にかけて島根県で CIR として在籍していたパク・ヘジョン氏を取材しました。

YouTube 動画（パク・ヘジョン氏）のサムネイル

島根県では、韓国について知ってもらうことを目的として、県民を対象とする事業の企画・広報・募集・進行など、全ての業務を CIR が実施する「韓国コース」に従事した後、現在は韓国の国立国語院に勤務しています。

国立国語院では、公共機関からの依頼による日本語の翻訳や、翻訳教育に関する業務のほか、韓国語の専門用語の標準化に関する業務に取り組んでいるそうです。翻訳した日本語の資料が関係機関で使用されている時や、標準化した韓国語の専門用語が日常生活で話されている時には特にやりがいを感じる、とお話をされていました。

撮影の裏話ですが、パク・ヘジョン氏は一度も取り直しをすることなく取材が進行したため、まさに言語のプロフェッショナルという印象を受けました。

元長崎県対馬市 CIR　イ・ヒョンジュ氏

3人目は、2017年4月から2021年3月にかけて長崎県対馬市でCIRとして在籍し、現在は韓国の京畿道教育庁において、ジョンワン高校の日本語教師として活躍されているイ・ヒョンジュ氏を取材しました。

YouTube 動画（イ・ヒョンジュ氏）のサムネイル

朝鮮半島の最も南に位置する都市、釜山から約49.5キロメートル南方に位置し、韓国から一番近い日本の自治体として古くから韓国人に親しまれている対馬市では、日韓の平和を象徴する行事である「朝鮮通信使」に関連した文化交流事業などに取り組まれたそうです。

記憶に残った仕事として、2019年の「朝鮮通信使」の行列再現行事についてお話しいただきました。毎年開催されており、日韓両国の関係者約400人を対馬市に招致して実施するこの行事ですが、当時は日本製品の不買運動が韓国内において激化していた時期であり、観光分野における人的な交流も大幅に減少する状況のなか、成功裏に同行事を実施できたことは大変記憶に残っている、とのことでした。

同行事をはじめとする草の根レベルでの人的交流事業を継続的に実施したおかげで、昨今の良好な日韓交流が続いていることを思うと、大変意義深い仕事をされたのだと、生の声を聞くなかで実感できました。

おわりに

韓国語のYouTube動画は、当事務所ホームページ（https://www.clair.or.kr/jet/career_up.asp）から閲覧が可能です。主に韓国人の現役JET参加者やJETプログラムへの参加を検討している人々に向けて動画を作成していますが、韓国人CIRの当時の業務内容やその後の仕事の内容、仕事におけるやりがいの話などは各自治体でも関心の高い分野かと思いますので、この機会に是非一度ご覧いただくとともに、一層の周知をいただけると幸いです。

動画取材の様子

結びに、韓国から日本へ訪れる観光客は年々増加しており、2024年の韓国人訪日観光客数は、過去最高の約882万人を記録しました。ソウルからの地方便の再開や増便が続々と行われたことや、円安ウォン高の影響もあり、コロナ禍以前の2019年と比較しても1.5倍以上に増加しています(注)。各自治体における韓国人JETの需要が一層高まっているこの機を逃さず、ソウル事務所は、JETAA韓国支部と連携して、2025年度もこの事業のほか、JETプログラム説明会（オンライン）の実施や「日本留学＆就職フェア」「日韓交流おまつり in Seoul」への出展を実施することによって、JETプログラムの周知に一層取り組んでまいります。

（注）日本政府観光局「訪日外客数（2024年12月および年間推計値）」
[https://www.jnto.go.jp/news/press/20250115_monthly.html#:~:text=%E3%81%BE%E3%81%9F%E3%80%812024%E5%B9%B4,%E5%8E%BB%E6%9C%80%E9%AB%98%E3%82%92%E8%A8%98%E9%8C%B2%EF%BC%89%E3%80%82]
（最終検索日：2025年3月18日）